

バプテスマ

あしあと
イエス・キリストの足跡をたどる







あいともだち 愛するフレンド (お友達) のみなさん、

『フレンド』のこの特別号を、みなさんに楽しんでいただけることを願っています。今月号は、すべてバプテスマとかくにんについてです。

わたしたちは、バプテスマを受けたばかりの人を、末日聖徒イエス・キリスト教会の新会員としてかんげいします！

バプテスマを受けるとき、あなたはすくい主イエス・キリストのもはんにしたがつています。すくい主を覚え、主のいましめを守ると約束します。この約束は、聖約とよばれます。かくにんを受けると、せいいいの賜物をさずかります。せいいいは、生涯を通じてあなたをなくさめ、みちびき、靈感をあたえてくださいます。

すでにバプテスマを受けている人は、バプテスマのときに交わした聖約を覚えて、毎日イエスにしたがうようにしてください。

まだバプテスマを受けていない人は、この重要なステップについてさらに学ぶことによって、そなえてほしいと思います。

みなさん一人一人を心からほごりに思います。天のお父様はいつもあなたを見守っておられると知っています。天のお父様はあなたをととても愛しておられ、わたしたちもあなたを愛しています。

だいかんちやうかい
大管長会

このバプテスマ特別号をさらに注文するには、裏表紙を見てください。

もくじ 目次

バプテスマを受けることで イエス・キリストにしたがう

イエスは道をしめしてくださいました.....	4
ジョージアの大事な日.....	6
活動：フォントへのステップ.....	8
活動：わたしのバプテスマに来て！.....	9
わたしのバプテスマの聖約.....	10
ぼくがバプテスマを受けるまで.....	12
ともにイエスにしたがう.....	14
わたしのバプテスマとかくにん.....	16

かくにんとせいらいの賜物

特別な賜物.....	18
活動：点をつなげよう.....	20
せいらいの声を聞く.....	21
決してひとりではありません.....	22
どのようにいのるのでしょうか？.....	24
活動：しっかりと立つ.....	25
活動：聖文のぬり絵.....	26

イエス・キリストの教会の会員になる

教会へようこそ！.....	28
せいさんを取る.....	30
活動：教会スカベンジャーハント.....	31
ジェイデンのお話.....	32
家族のお話活動.....	34
「子供と青少年」プログラムでイエスのように成長する.....	36

まいにち 毎日イエスにしたがう

こわれた水筒.....	38
公園でのトラブル.....	40
わたしはイエス・キリストにしたがうことができる.....	42
活動：見つけよう！.....	43
きらきらのネックレス.....	44
聖約の道を歩む.....	46
あなたのための機関誌です！.....	48

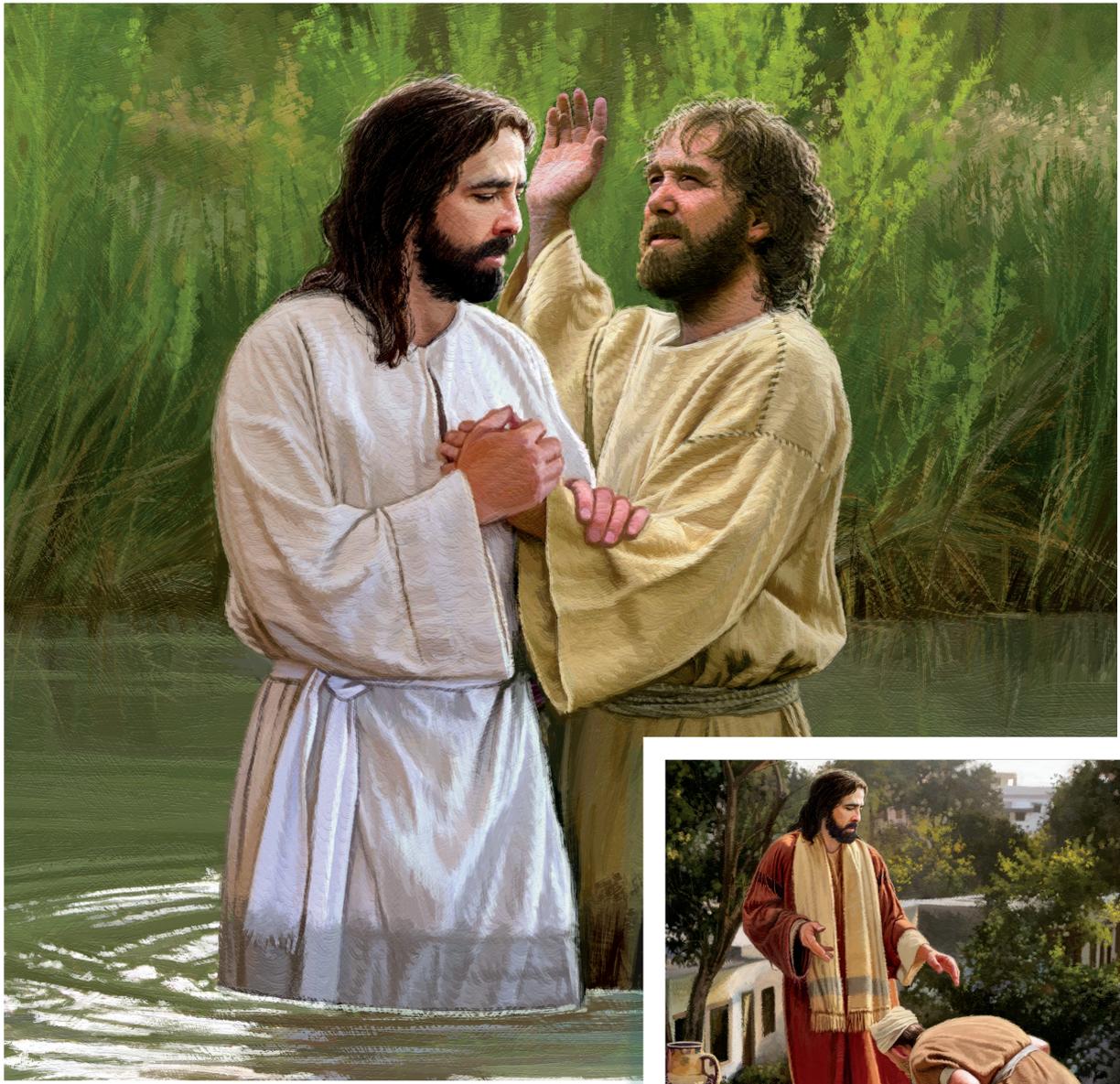




バプテスマを 受けることで イエス・キリストにしたがう

あなたも、イエス^{さま}様のようにバプテスマ^うを受けることができます！

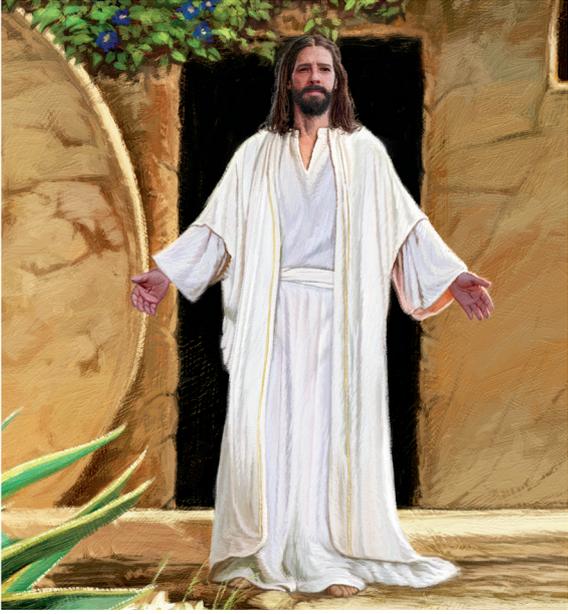
イエスは道^{みち}をしめしてくださいました



イエス・キリストは神の御子^{かみ おんこ}であられます。わたしたちがいつの日か^ひ天のお父様のもとに帰る方法を教えるために地上に来られました。イエスはバプテスマ^うを受けられました。わたしたちもバプテスマ^うを受けるべきだと教えてくださったのです。



イエスは、どう生きればよいかをしめしてくださいました。すべての人^{ひと}を愛し、助けられました。イエスは、わたしたちが御自分^{おのれ}にしたがうことを願っておられます。



イエスはわたしたちのあらゆる^{あど}いたみを^{あじ}味わい、わたしたちのつみのために^{くる}苦しめられました。そして、わたしたちのために死なれたのです。この行い^{おこな}は、イエス・キリストのしょくざいとよばれます。イエスは復活^{かっかつ}されました。つまり、イエスは今も生きておられるということです！ イエスの^{あつ}おかげで、わたしたちはみな、死んだ^{あと}後も^いふたび^い生きます。

イエスがこれらすべてをしてくださったのは、わたしたちを^{あい}愛しておられるからです。イエスの^{あつ}おかげで、わたしたちはいつの日か^{かぞく}家族とともに^{てん}天に住むことができます。



マタイ 3: 13 - 17 と
3 ニーファイ 27: 13 - 16 を参照。

わたしたちは、バプテスマ^うを受けることでイエス・キリストにしたがうことができます。また、人々^{ひとびと}を^{あい}愛し、^{たす}助け、^{しゆ}主の^{いまし}戒めを守ることによって、毎日^{まいにち}イエス・キリストにしたがうことができます。●

ジョージアの だいじ 大事な日

「わたし、もうすぐバプテスマを受けるの」とジョージアは言いました。「イエス様のようにね!」



オリビア・キッターマン

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

これは、オーストラリアでのお話です。

ジョージアはマチルダを連れて自分の部屋にかけ上がりまし
た。友達^{ともだち}が遊び^{あそび}に来るの^きは、いつでもうれしいものです。

「ロボットで遊んでもいい?」マチルダが聞いてきました。

「もちろん!」とジョージアは言いました。ロボットで遊ぶこ
とはお気に入りの一つです。

ジョージアがロボットを取り出している間^{あいだ}、マチルダはジョー

ジアの部屋^{へや}のかべにかかっている絵^えを見ると、真ん中^{まんなか}にある絵^え
を指さして、聞きました。

「あれ、何^{なん}の絵^えなの?」

「イエス・キリストがバプテスマを受けておられる絵^えよ」と
ジョージアは言いました。「わたしも、もうすぐバプテスマを受
けるの。イエス様^{さま}のようにね!」

「どうしてバプテスマを受けるの?」マチルダが聞いてきました。

「イエス様にしたがいたいからよ」とジョージアは言いました。「バプテスマを受けるとき、イエス様にしたがいますって約束するの!」

ジョージアは、ふとあることを思いつきました。「わたしのバプテスマに来てみない?」

「お母さんに行ってもいいか聞いてみるわ」とマチルダは言いました。

ジョージアのバプテスマの日が、だんだんと近づいてきました。聖文の物語の本を読み、毎週初等協会に行きました。ねる前にいのちの後、ジョージアはイエスの絵を見ました。バプテスマを受けるとはどんな感じなのか、想像するのが好きでした。

バプテスマを受ける前の日曜日、ジョージアはバプテスマの面接を受けました。両親と一緒にビショップ室で話しました。バプテスマを受けるじゅんぴができていのかどうかかくにんするために、ビショップはジョージアにいくつか質問をしました。

「イエス・キリストが神の御子だということを信じていますか?」とビショップが質問しました。

ジョージアは信じていたので、「はい」と答えました。

ビショップはにっこりと笑いました。「バプテスマを受けるといことは、とても大切な選択です。あなたはバプテスマを受けたいですか?」

ジョージアは、自分がどれほどイエスを愛し、イエスにしたがいたいと思っているか考えて、「はい!」と答えました。

ついに、大事な日がやって来ました。水の中に入って行くと、友達や家族が見ているのが見えました。マチルダもいました!

お父さんがバプテスマのいのりの言葉を言うと、ジョージアは心に平安と幸せを感じました。それから、お父さんは注意深くジョージアを水の中にしずめ、すぐに引き上げました。ジョージアは水から上がると、幸せを感じ、きれいになった気がしました。

お父さんがギュッとだきしめてくれました。お母さんは、タオルを持ったまま、ニコニコして階段の上でジョージアを待っていてくれました。

ジョージアは、体の中が温かくなるのを感じました。特別な日でした。イエスにしたがうことを選んだのです。そして、これからもずっと、毎日イエスにしたがいたいと思いました! ●



バプテスマのいのり

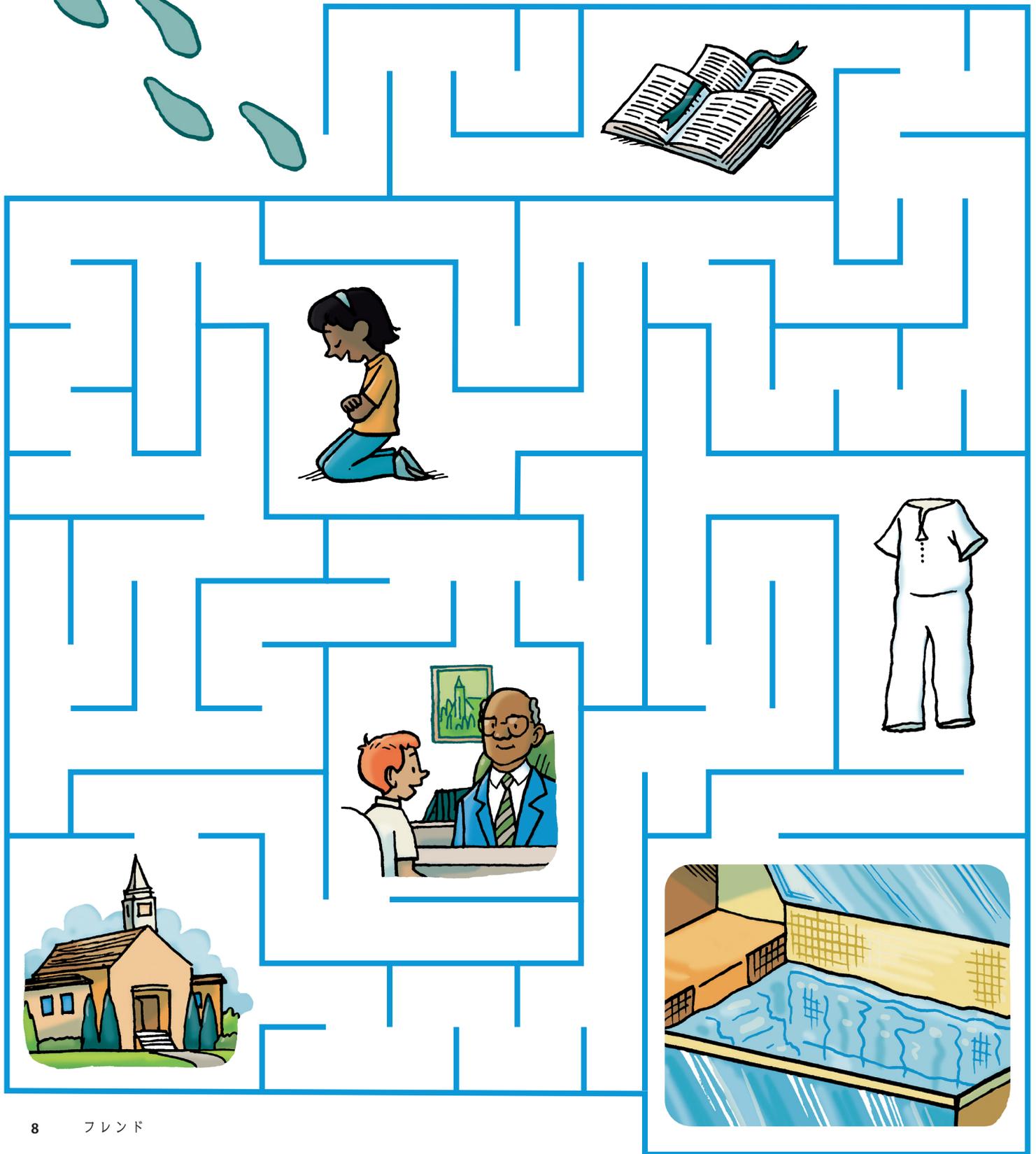
イエス・キリストは地上の人々に、主の御名によってバプテスマをほどこし祝福する力とけんのをおあたえになっておられます。このけんのは、神権とよばれます。あなたにバプテスマをほどこす人は、次の特別ないのりをささげます。

「わたしはイエス・キリストよりけんのを受けたので、御父と御子とせいれいの御名によって、あなたにバプテスマをほどこします。アーメン。」



フォントへのステップ

めいろとお 迷路を通してバプテスマフォントへ続く道を見つけましょう。
つづ みち み
ひと ひと ひとつの絵を通して、じゅんびするために何が出来るかかくにんしてください。



わたしの バプテスマに来て！

カラフルなカードを作って、あなたのバプテスマに人々を招待しましょう！ だれを招待したいですか？ アイデアを求めているのり、せいいいの声に耳をかたむけてください。

1. 紙を半分に折ります。カードの表または内側に、バプテスマに人々を招待する言葉を書きます。
2. バプテスマの日付、時間、住所も書きます。
3. 指を絵の具にひたして、模様をかきましょう！ このページの絵を参考にしてください。
4. できたカードを友達や家族にわたしましょう！

わたしのバプテスマに
来てください



必要なもの：
紙、マーカー、絵の具

自分のバプテスマを大切な人たちに
見てもらいたいと思いました。そ
こで、お母さんに助けてもらいな
がら、妹とわたしは友達やクラスメートを
バプテスマに招待しました。バプテスマの日は、す
べてがうまくいきました。たくさんの方が来てくれ
ました。バプテスマを受けて、とても幸せです！

イブ・O、8才
(フランス海外県マルティニーク、フォール・ド・フランス)



わたしのバプテスマの^{せいやく}聖約

^{せいやく}聖約とは、わたしたちが^{てん}天のお父様と^{やくそく}交わす約束です。
バプテスマを^う受けるときにわたしたちが^{やくそく}約束する3つのことについて^よ読んでください。
そして、バプテスマの^{せいやく}聖約を守るために^{まも}できることを書いてみましょう！

いつもイエス・キリストを^{おぼ}覚える

エレナは、ほかの人がある人に^{いじわる}意地悪をしているのを見て、イエスならどうなさるか^{かんが}考えました。

イエスを^{おも}思い^お起こすためにできること：

「いつも^{おんこ}御子を^{おぼ}覚え〔る〕」(モロナイ4:3)



^{おんこ}御子の^{みな}御名^うを受ける

ナナは友達に、
自分は^{まじつせいと}末日聖徒イエス・キリスト^{きょうかい}教会の^{かいいん}会員だと言いました。

^{しゅ}主の^{みな}御名^うを受けることは、わたしにとって
どういう^{いみ}意味か：

「〔イエス・キリスト〕の^{みな}御名^うを受け〔る〕」
(モロナイ4:3)

^{しゅ}主の^{まも}いましめを守る

ジェームズは悪い^{わる}言葉や^{ことば}シーンが出てくるビデオを^み見ないことにしました。

^{まも}守ることのできる^{まも}いましめ：

「^{おんこ}御子が^{あた}与えてくださった^{まも}いましめを守る」(モロナイ4:3)



しゅ か せいやく まも
主と交わした聖約を守る
 せいやく まも ほうほう
バプテスマの聖約を守る方法をさらにいくつか
 しょうかいしましょう。

ひと たす
人を助ける

あき お おとうと さんすう しゅくだい
 昭夫は弟の算数の宿題を
 てつだ
 手伝いました。

わたしが助けてあげられる人：



「おもに かる 重荷が軽くなるように、たがいに重荷を負い合う」(モーサヤ 18:8)

わる
悪いことをしたらくい改める

あね おも
 姉に思いやりのないことを言った後、
 アイザは天のお父様にいのりました。
 あね もと
 そして、姉にゆるしを求めました。

わたしにくい改められること：



「くい改めてふたたび生まれ〔る〕」(アルマ 5:49)

ひと
人をなぐさめる

ルーカスは、おじいちゃんをなくした友達を
 たずねました。

わたしがだれかをなぐさめるためにできること：



「なぐさめの 要る者(もの)をなぐさめる」(モーサヤ 18:9)

かくにんの ぎしき
かくにんの儀式

バプテスマの後、神権者があなたの頭に
 て おお
 に手を置きます。

その神権者は、あなたが末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であることをかくにんし、せいれいの賜物(たまもの)を受けるようにとあなたを祝福します(教義と聖約 33:15 参照)。

てん の おとうさま
天のお父様があなたに約束してくださること

わたしたちがバプテスマとかくにんを受けるとき、天のお父様は、わたしたちがいつも御子(おんこ)のみたま(みたま)を受けると約束してくださいます。せいれいはわたしたちが神様の愛(かみさまのあい)やなぐさめ、平安(へいあん)を感じられるよう助けてくださいます。また、わたしたちがくい改めるとき、ゆるされたと感じることができるよう助けてくださいます。

毎週(まいしゅう)せいさんのいのりに耳(みみ)をかたむけることによって、バプテスマの聖約(せいやく)についてさらに学ぶことができます(教義と聖約(ぎとせいやく) 20:77, 79 参照)。

ぼくがバプテスマを受けるまで



こんにちは。
ぼくはアラノアライです。
タヒチに住んでいます。
ぼくは11才で、末日聖徒
イエス・キリスト教会の
会員ですと言えることを
ほこりに思っています。

この教会のことを、 どのようにして知りましたか？

何人かの友達が、わたしの家族を教会の活動にさそってくれました。子供のバプテスマにも招待されました。ぼくはイエス・キリストについて、ほんとうにもっと知りたかったので、宣教師と会ってもいいかどうかお母さんに聞きました。

宣教師のレッスンは どのような感じでしたか？

宣教師は、すごく親切でした！ぼくはいつも、イエス・キリストとその福音についてのレッスンを受けるのを楽しみにしていました。宣教師が話してくれた物語や、学ぶためのゲームが好きでした。





バプテスマを受けたときは どのような感じでしたか？

お父さんがぼくの11歳の誕生日に、お母さんとぼくにバプテスマをほどこしてくれました。とても幸せでした！大好きな人たちをたくさん招待しました。クラスメートや先生がぼくをおうえんするために来てくれました。

水から上がったとき、ぼくはうれしくてたまらず、あふれんばかりの笑顔になりました！イエス・キリストのもはんにしたことができて、とても幸せでした。

初めての初等協会は どうでしたか？

最初はとてもきんちょうして泣きそうになりました。でも、初等協会の活動に行くと、みんなと仲良くなり、友達ができました。

初めての人は、最初はこわくても初等協会のクラスに来ることをおすすめします。ぼくたちは、初めての人たちが大好きです！

どのようにして イエスにしがっていますか？

いのり、毎週日曜日に教会に行っています。イエス・キリストの福音について家族と話します。

助けの必要な人に気づけるよう努力しています。家ではお母さんの家事を手伝ったり、お父さんの畑仕事や、木を切る作業、物を作る仕事を手伝っています。数か月前、ぼくたちのワードでタレントショーがありました。ぼくは楽器ができるので、一晩中ドラムをたたきました！

あなたにとって、バプテスマを受けてどんなことが良かったと思いますか？ または、あなたがいちばん楽しみにしていることは、なんですか？

ともにイエスにしたがう



ぼくはバプテスマを受け
たとき、新しい道を歩
み、イエス・キリストにしたが
うことを選びました。バプテ
スマはシンプルでしたが、すご
く感動して、新しい人になった
気がしました。ぼくは、伝道
に出たいと思っています。

ハピネス・D, 9才
(ガーナ, アクラ)



バプテスマを受けたとき、
水が冷たくて、寒いと感
じました。でも、バプテスマ
を受けた後は、温かくて、清
くなった感じがしました。バ
プテスマを受けることによっ
て、わたしはキリストと天の
お父様に向かって大きな一歩
をふみ出しました。

マライラ・S, 8才
(カナダ, ユーコン)



いのったり、聖文を読んだ
り、何か良いことをしたり
するたびに、わたしは幸せを
感じます。だれか大好きな人
からだきしめられたような気
持ちがします。それはせいい
れだと知っています。

ケイリーン・D, 6才
(フィリピン, 首都圏)



ぼくはバプテスマを受け
てからは、小さな妹に
やさしくすることでイエスに
したがおうと努力しています。
妹が乗るベビーカーをおして、
助けてあげます。人に親切に
すると、ぼくは幸せを感じます
し、イエス様も喜んでくださ
っていると知っています。

サイモン・P, 9才
(アメリカ合衆国, マサチューセッツ州)



ぼくは聖文を読み、主のい
ましめを守ることによっ
て、イエス様にしたがいます。

ルーク・W, 9才
(アメリカ合衆国, ワイオミング州)



せいれいは、幸せとよろこ
びと力を感じさせてく
ださい。

ヘイリー・G, 7才
(ボリビア, サンタクルス)



わたしはいのり、人を愛し、
信仰を持つことによって、イエス様にしたがいます。
ヨレリ・T, 6才
(メキシコ, スパンゴ)



心を落ち着かせ、正しいこ
とを選ぶとき、せいいい
を感じます。お母さんとお父
さんの話を聞いているとき、せ
いれいを身近に感じることが
できます。
オリバー・B, 10才
(アメリカ合衆国, ワシントン州)



せいれがいてくださると、
温かい気持ちを感じま
すし、カづけられます。せいい
いはいてほしいときにいてく
ださるので、とても大切な御方
です。
アイセア・A, 9才
(フィジー, 中央地域)



クリスマスの日、お父さん
とわたしはお家のない
人たちに食べ物をお届けました。
とても楽しかったです！ わた
しはイエスにしたがうと幸せ
を感じます。
あかり・F, 9才 (日本, 千葉県)



わたしは家族を愛し、ママ
のお手伝いをして、イエ
ス様にしたがいます。
クロエ・D, 4才
(フィリピン, 首都圏)



ぼくは、つらいときにせい
れいを感じます。せい
れいを感じると、気持ちが楽
になります。
ハンター・D, 11才
(アメリカ合衆国, ノースカロライナ州)

わたしは
まっじつせいと
末日聖徒
イエス・キリスト教会の
かいいん
会員になりました。

わたしのバプテスマと かくにん

わたしの名前は _____ です。

わたしはイエス・キリストにしたがって、主の教会の会員になることを選びました。

わたしがバプテスマを受けた日： _____

わたしにバプテスマをほどこしてくれた人： _____

わたしはせいれいの賜物を受け、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員としてかくにんされました。

わたしがかくにんを受けた日： _____

わたしにかくにんを行ってくれた人： _____

初等協会会長

ビショップまたは支部会長

ワードまたは支部

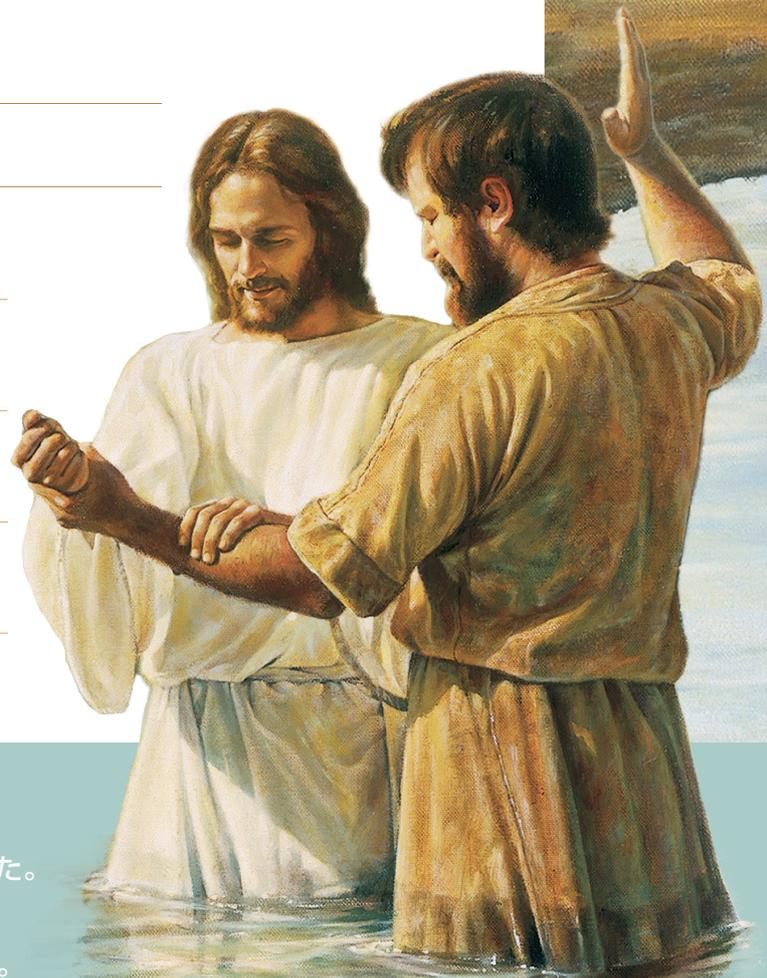
ステークまたは地方部

わたしは、主に仕え、主のいましめを守ると聖約しました。

主はわたしにみたまをあたえて、

いつもわたしをみちびくと約束してくださっています。

(モーサヤ 18 : 10 参照)



わたしは
まつじつせいと
末日聖徒
イエス・キリスト
きょうかい
教会の
かいいん
会員になりました。

わたしのバプテスマと かくにん

わたしの名前は _____ です。

わたしはイエス・キリストにしたがって、主の教会の会員になることを選びました。

わたしがバプテスマを受けた日： _____

わたしにバプテスマをほどこしてくれた人： _____

わたしはせいれいの賜物を受け、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として
かくにんされました。

わたしがかくにんを受けた日： _____

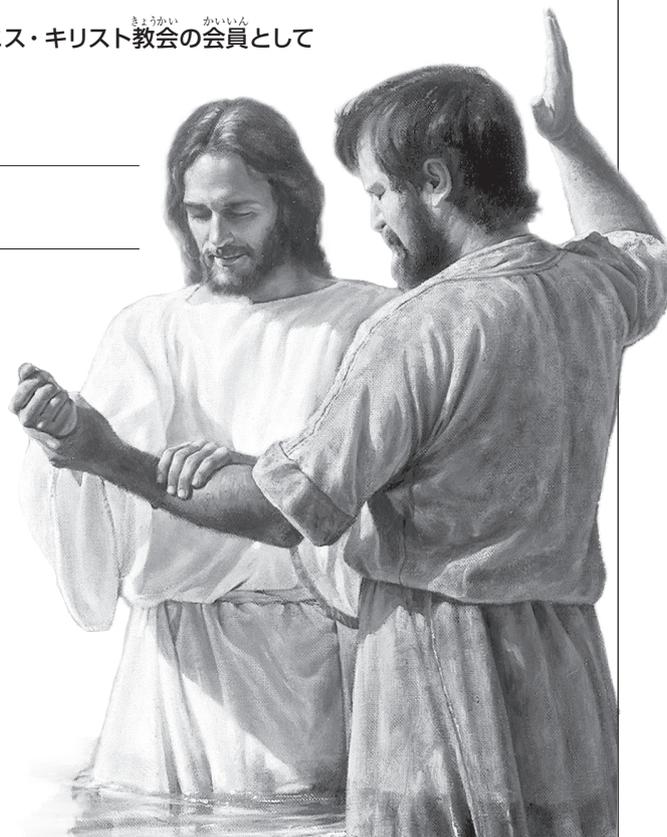
わたしにかくにんを行ってくれた人： _____

初等協会会長

ビショップまたは支部会長

ワードまたは支部

ステークまたは地方部



わたしは、主に仕え、主のいましめを守ると聖約しました。
主はわたしにみたまをあたえて、いつもわたしをみちびくと約束してくださっています。

(モーサヤ 18 : 10 参照)



かくにんと せいれいの たまもの 賜物

バプテスマを受けた後、あなたはイエス・キリストの教会の会員として
かくにんされます。また、せいれいの賜物も受けます。

とくべつ 特別な たまもの 賜物

「これはせいいに違いない」とメリマは思いました。

グレッチェン・ピクレシマー・キニー

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

このお話は、フランスでの出来事です。

「メリマ! ファティマ! 宣教師がいらしたわよ」とお母さんがよびました。

メリマは聖文の物語の本をとじると、リビングに走って行きました。宣教師たちはイエス・キリストについてメリマの家族に教えていました。メリマは家族と一緒に、もうすぐバプテスマを受けることになっています。早く受けたくてたまりません!

メリマは家族と一緒にこしかけました。

「今日はせいいについて話します」とモエイ長老は言いました。「せいいは、天のお父様の平安となぐめを感じることができるよう助けてくださいます。」

「また、よいことを行うようわたしたちをばげましてくださいます」とキャンベル長老は付け加えました。「それに、何が真実かが分かるよう、わたしたちを助けてくださいます。みなさんは、おそらくせいいを感じたことがあるでしょう。」





メリマは、モルモン書について知ったときのことを考えました。平安と幸せな気持ちを感じました。だから、それがほんとうのことが書いてある本だということが分かったのです。あれは、せいいれいだったのでしょか？

「バプテスマを受けた後、せいいれの賜物をさずかります」とモエアイ長老が言いました。「つまり、せいいれはいつもみなさんとともにいて助け、みちびいてくださるということです。」

「今週、自分の考えや気持ちによく注意してください」とキャンベル長老が言いました。「せいいれがいつ自分に語られるのか、さがしてみましよう。」

そのばん、家族のいのりのとき、メリマは心に何かを感じていることに気づきました。落ち着きと平安を感じたのです。だれかがギュッとだきしめてくれているような感じでした。これはせいいれに違いない、と思いました。

日曜日に教会で、メリマはイエス・キリストについての歌を聞いて、幸せを感じました。ほかの人を助けたいと思うようになりました。これもせいいれに違いない、と思いました。

ねる前にメリマは、聖文の物語の本を読みました。妹のファティマが、「今度はわたしが読みたい」と言ってきました。メリマは「ダメ」と言って、

読み続けました。でも、読ませてあげないなんて悪いことをしたような気持ちがしたので、

ファティマに言いました。「ごめんね。一緒に読もうか？」

ファティマはメリマの横にすわりました。二人は交代で読みました。メリマは温かくて幸せな気持ちを感じました。これはせいいれに違いない、と思いました。

ついに、バプテスマの日が来ました。メリマと家族は教会に行き、白い服に着がえました。

メリマが最初にバプテスマを受けました。水は冷たかったのですが、天のお父様と聖約を交わすことができたので、メリマはうれしくなりました。お母さんがタオルをまいてくれました。次に、お母さんとお父さんとファティマがバプテスマを受けるのを見ました。

メリマはかわいた服に着がえました。さあ、次はかくにんを受ける時です。

宣教師たちはメリマの頭に手を置きました。「あなたを末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にかくにんします」とキャンベル長老が言いました。「せいいれを受けなさい。」メリマは祝福の言葉の続きを聞きながら、温かい気持ちを感じました。

メリマのかくにんが終わると、お母さんはメリマをだきしめました。「どんな気持ち？」

「すごくいい気持ち」とメリマは言いました。「宣教師たちがわたしの頭の手を置いたら、何かを感じたの。平安だったと思う。」そう言ってにっこりと笑いました。「だれかがわたしに良い人生を送って、人を助け、いましめを守りなさい、と言っているような気がしたわ。」

「自分が何を感じていたか、分かる？」とお母さんが聞ききました。

「うん、分かてるわ」と言って、メリマは目をかがやかせました。「それはせいいれよ！」●

せいいれい

せいいれいは、「みたま」とよばれることもあります。天のお父様とイエス・キリストのメッセージを伝え、わたしたちをなぐさめ、どうすればよい選択ができるか教えてください。 (教義と聖約 79 : 2 参照。) 21 ページを開いて、せいいれの声を聞く方法をいくつか学びましょう。

てん 点をつなげよう

バプテスマを受けた後、あなたは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にかくにんされます。

また、みちびき、なぐさめてくださるせいれいの賜物も受けます。

点を結んで、絵を完成させましょう。



せいいいの こえ き 声を聞く



ローウェン・B, 9才
(アメリカ合衆国オレゴン州)

去年の夏、わたしの家族はハイキング
去に行きました。歩いていると、小川
がありました。姉と弟とわたしは、くつを
ぬいで水の中に入って行きました。

水がひざの少し上まで来たとき、わた
したちは立ち止まりました。年上の子たちが、もっと先の深い水
の中で遊んでいるのが見えました。妹はにっこりして、「もっと
深い方に行こうよ!」と言いました。

しかしわたしには、弟とそこに残るようにと言う声が頭の中で
聞こえました。それはせいいいだということが、わたしには分っ
ていました。姉に、見に行ってもいいけれど、弟とわたしは行か
ないと言いました。

姉はもどって来ると、水がとても荒くて歩くのは大変だったと
言いました。わたしはその言葉を聞いたとき、自分と弟を安全
に守るために正しい選択をしたことが分かりました。●

せいいいがしてくださること

- きけんから守るためにけいこをする
- 不安やおそれがあるときになぐさめる
- 何か良いことを行うアイデアをあたえる
- 愛を感じさせる
- 何かがほんとうのことだと分かるよう助ける

いのり、聖文を読み、ほかの人を助けるとき
に、せいいいは語りかけてくださいます。自
分の考えや思いに心を向けましょう。天の
お父様はせいいいを通してあなたに何をつ
けておられますか？

決してひとりでは ありません

またけがをしたときにだれも助けてくれる人がいなかったら、
イーサンはどうなるのでしょうか？



ガブリエル・シオザワ

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

この話は、アメリカ合衆国での出来事です。

イーサンはブランコの上で足をふり上げました。ブランコはどんどん高くなります。風のおかげで、まるで飛んでいるようです！

そのとき、かねが鳴りました。イーサンはため息をつきました。休み時間が終わってしまうなんて、残念です。

子供たちが列を作って中にもどります。イーサンはブランコのスピードを落とすと、クラスにもどるために、ブランコからおりました。

しかし足が地面についたとき、イーサンはするどい痛みを感じ、地面にたおれこみました。立ち上がろうとしましたが、足が

もえるようにいただきます。いたくてたまりません！

「助けて！」イーサンは大声を上げました。なみだがポロポロとこぼれました。子供たちや先生たちがかけつけました。

「どうした？」先生が聞いてきます。

「足が折れました！」

イーサンが骨折したのは、これが初めてではありません。2度や3度でもないのです。イーサンはほねがもろくなる病気で、ほねが折れやすくなっています。カーブで足をふみ外したり、だれかにぶつかったりするような小さなことでも、ほねが折れることがあるのです。

「お医者さんに連れて行ってもらうために、親に電話するからね」と先生は言いました。「大丈夫だよ。」

イーサンは、助けてくれる人がいて良かったと思いました。足はまだとても痛みましたが、大丈夫だと思いました。

お母さんとお父さんが学校に来て、イーサンを医者に連れて行きました。イーサンは緑色のギプスをはめて家に帰り、休みました。

足の骨折のために、イーサンはベッドで長い間ねていなければなりません。読む本はたくさんありました。時々友達に来て、一緒にゲームをしました。それでも、イーサンはたいくつでした。

あるばん、イーサンは目が覚めると、ねむれなくなりました。リラックスしようとしたのですが、不安な気持ちが消えません。もし真夜中とか、だれもいないときにほねを折ったらどうしよう？ イーサンは、そう考えると心臓がドキドキしました。こわくなって、

「お父さん！」とさげびました。

お父さんはイーサンの部屋にかけつけました。「どうした？」

「ぼく、こわい」とイーサンは言いました。「別のほねが折れて、だれも助けてくれる人がいなかったら、どうしよう？」

お父さんはベッドの上でイーサンのとなりにすわると、こう言いました。「そう考えると、こわいよね。注意していても、悪いことが起こることはあるからね。でも、どんなことがあっても、天のお父様は君を見守っておられるよ。」

「じゃあ、主はいつもぼくと一緒にいてくださるってこと？」イーサンは言いました。

「そのとおり。」お父さんはイーサンをやさしくだきしめました。

イーサンは、お父さんがどれほど早く助けに来てくれたかを考えました。お父さんが自分を愛していて、いつでも助けようとしていることは分かっていました。天のお父様もそうなのかもしれ

れません。

翌日、イーサンは機関誌『フレンド』で、あるせいをよみました。こんなせいです。「おそれてはならない。主なるわたしはあなたがたとともにおり、あなたがたのかたわらに立つからである。」¹

お父さんと話したときと同じように、イーサンはこのせいをよ読んで、心がおだやかになって安心しました。せいが自分をなぐさめてくださっていることが分かりました。まるでお父さんとまたハグしているようでした。

きっとまたほねを折るんだろうな、とイーサンは思いましたが、おそれる必要はないんだとも思えました。自分は決してひとりではないことが分かったからです。●

*教義と聖約 68 : 6



あなたが天のお父様の愛を感じたのは、どのようなときですか？

……に
かんしゃ
感謝します

どのように いのりのでしょうか？

いのりとは、^{てん}天のお父様と話す方法です。^{てん}天のお父様はいつもあなたの話^{はなし}を聞きたいと思っていて、いつも耳をかたむけてくださいます。色々な方法^{いろいろ ほうほう}であなたのいのりにこたえてくださいます。せいいいを通してうながし^{とお}や何らかの気持ち^{なんらかの きもち}をあたえてくださるかもしれません。または、ほかの人^{ほかのひと}をつかわして助けてくださるかもしれません。

いのり方^{かた}

目をとじて^{めをとじて}頭を下^{あたまをさげ}げ、うでを組^くみます。

「愛^{あい}する天のお父様^{てんのおとうさま}」と言って始^{はじめ}めます。

敬^{けい}意^いをもって、けいけんに、天のお父様^{てんのおとうさま}に話^{はな}します。

「イエス・キリストの御名^{みな}により、アーメン^{あーめん}」と言って終^おえます。

いつでも、声^{こゑ}に出^だしていのったり心^{こころ}の中^{なか}でいのったりすることができます。

どんなことをいのるか

あなた^{かんしゃ}が感謝^{かんしゃ}していることを天のお父様^{てんのおとうさま}に感謝^{かんしゃ}する。

今^{きょう}日起^おこったいやなことや良^よいことについて、天のお父様^{てんのおとうさま}に話^{はな}す。

こわいときや、どうすればよいか分^わからないときに、天のお父様^{てんのおとうさま}に助^{たす}けを求^{もと}める。

助^{たす}けを必要^{ひつよう}としている人^{ひと}を祝^{しゅく}福^{ふく}してくださるよう、天のお父様^{てんのおとうさま}に願^{ねが}い求^{もと}める。

しっかりと立つ^た

木の根はとても大切です。根があるおかげで、
風が吹いても、あらしが来ても、
木はしっかりと立っていることができます。

自分の生活にせいいいをまねき、天のお父様を
いつも身近に感じるためにできることを、
この木の根に書いてみましょう。そうすれば、
あなたもしっかりと立つことができます。

まいにち
毎日いのる

せいぶん え
聖文のぬり絵

まいにちせいぶんをよみます。せいいいを感じたり、天のお父様とイエス・キリストについて学べるよう助けてくれます。

せいぶんをよむたびに、この絵の一部に色をぬりましょう。

この絵は、4 さつある聖典それぞれから一つずつ物語を取ってきました。

聖書



モルモン書



教義と聖約



高価な真珠

せいぶんをけんきゅうするはたらはたくさんあります。ほんや携帯電話やタブレットでよむことができます。

ろくおんをきいたり、せいぶんの本のほんをみたり、モルモン書ビデオやせいぶんビデオをみることもできます。



イエス・キリストの きょうかい 教会の かいいん 会員になる

バプテスマとかくにんを受けると、イエス・キリストの教会の会員になります。

イエスはこれを、末日聖徒イエス・キリスト教会と名付けられました

(教義と聖約 115:4 参照)。



きょうかい
教会へ
ようこそ!





一緒にいったり



質問したり



歌を歌ったりもできるよ。



自分が真実だと感じていることや、
真実だと思っていることを分かち合ったり



新しい友達をつくることもできるし、
ほかの人を温かくむかえて喜んでもらうこともできるよ。



イエス・キリストが近くにおられるような気持ちになれるわ。



そして、イエス・キリストについて学ぶよう
ほかの人にすすめることもできるんだ！

と せいさんを取る

まいしゅう わたしたちはせいさんと取ります。
それはイエス・キリストをおぼしめ、しゅやくをやくそくするためです。



と まえ せいさんを取る前にできること

さんびか うた
賛美歌を歌う

みず ようい
パンと水が用意されるのを見る

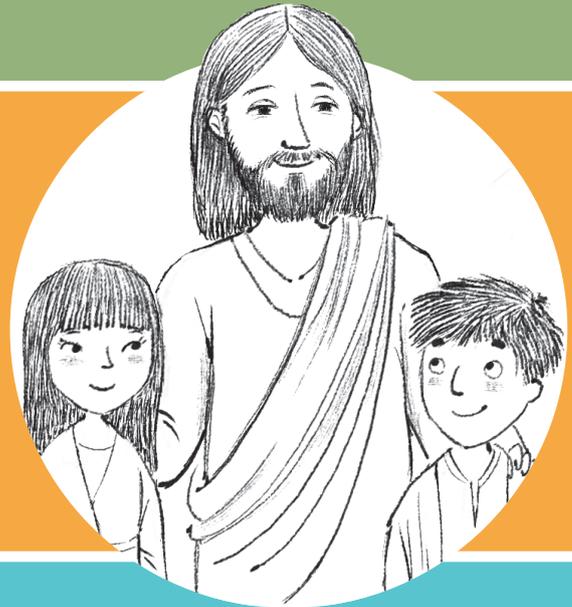
せいさんのいのりにみみをかたむける

あいだ せいさんの間にできること

みず
パンと水をけいげんにうける

さま
イエス様がわたしのためにしてくださったことと、
どれほどわたしをあいしておられるかを考える

じぶんか
自分が交わしたバプテスマのせいやくについて思い起こす



あと いっしゅうかん せいさんの後、その一週間ずっとイエス様をおぼえ、 イエス様にしたがうためにできること

まも
いましめを守る

ひと しんせつ
人に親切にする

せいれいのうながしにしたがう

「イエス様ならどうされるかな?」と考える



きょうかい
教会
スカベンジャーハント

教会は、学んだり、楽しいことをしたり、人を助けたりすることができる場所です。
このページにのっていることをいくつかできるか、やってみましょう！



ビショップまたは
支部会長と
握手する



イスならべや
ゴミ拾いを手伝う



賛美歌や
初等協会の歌を学ぶ



初等協会で
助けを申し出る



聖餐会で
お話を聞く



初等協会にいる人の
名前を覚える



だれかと
聖文を分かち合う



初等協会の教師に
感謝する



ほかの人の話を
よく聞く



クラスで
質問に答える



初等協会の指導者から
『子供のガイドブック』を
受け取る



新しく来た人に
話しかける

ワードと支部

ワードまたは支部とは、教会のために集う人々のグループのことです。

支部はワードよりも小さいです。

支部は支部会長によってみちびかれ、ワードはビショップによってみちびかれます。

ジェイデンの はなし お話



カリー・ラム

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)



ジェイデン、次の日曜日
せいさんについて
お話してくれる?

うん!

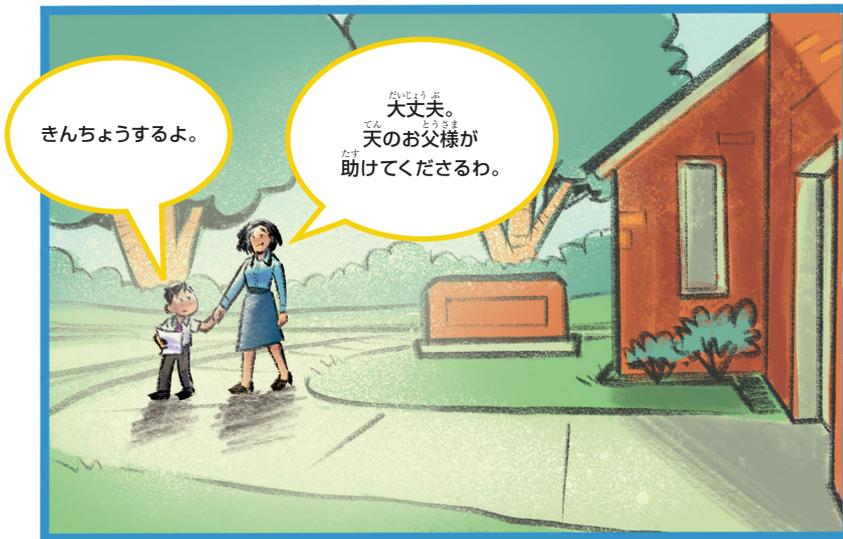
翌週……



お話を書くのを
わすれないようにね。
手伝おうか?

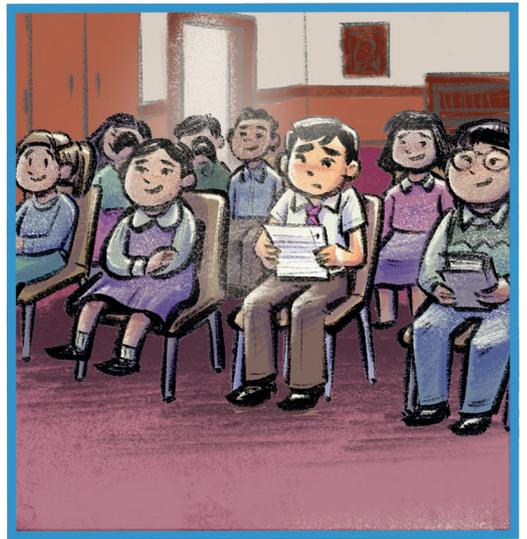
ううん、大丈夫。
自分で
やりたいから!





きんちょうするよ。

大丈夫。
天のお父様が
助けてくださるわ。



天のお父様、
お話の間、
こわくならないように
助けてください。



ぼくはイエス・キリストが
大好きです。
せいさんを取るとき、
ぼくは静かにすわって
イエス様について考えます。



お話
よくできたね。

こわかったけれど、
天のお父様が
助けてくださったよ。

このお話は、香港での出来事です。

お話をする
お話をするときには、聖文を分かち合ったり、イエス様についての物語を話したりすることができます。親や指導者に助けてもらうとよいでしょう。

かぞく 家族の はなしかつどう お話活動

「もっと家族のお話を教えてくれる？」ロレインはたずねました。

ルーシー・スティーブソン・イーウェル

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

このお話は、バヌアツでの出来事です。

□ レインは歌の最後の歌詞を歌い終わると、にっこりしました。初等協会の歌の時間が終わり、クラスに行く時間になったのです。

その前に、タレオ姉妹が立ち上がりました。「今度の初等協会の活動について、みんなにお話ししたいと思います」と言います。「みんなに、自分の家族について学んでほしいと思っています。親に家族のお話を聞いてみてください。そして活動の時に、わかったことをみんなに分かち合ってもらいます。」

ロレインは教会から家に帰ると、ワクワクしていました。大きな紙を見つけてテーブルに持って行きました。自分の家族について知りたくてたまりません！

ロレインは紙に家系図をかきました。お母さんとお父さんが、すべての名前のつづりを教えてくれました。そして、ロレインは家族の写真をポスターにはり付けました。

「あなたのひいおばあちゃんの名前もロレインだったのよ」とお母さんが言いました。「ひいおばあちゃんの名前をあなたに付けたの。」

「わあ、そうなの」とロレインは言いました。

「ロレインおばあちゃんはとても愛にあふれた人だったのよ。」お母さんはにっこりしました。「村の人たちが火にくべるたきぎを切らしてしまったとき、ロレインおばあちゃんは自分のを分けてあげたの。」

自分の家族について知るの楽しいことでした！「もっと家族のお話を教えてくれる？」ロレインはたずねました。

「お父さんに、初めて神殿に行ったときのことを話してもらおうといいわ」とお母さんは言いました。「お父さんはその時まで6才だったのよ。お父さんの両親と一緒に、ニュージーランドの神殿まで長い旅をしたの。」

ロレインは神殿の話聞くのが大好きでした。「お父さん、お話を聞かせて！」と言いました。

「まずはニュージーランド行きの飛行機に乗って、それからバスに乗ったんだよ。長い旅だった。」お父さんはロレインに神殿の写真を見せました。「ついに両親と一緒に中に入って、家族として結び固められたんだ。永遠に一緒にいられるということ



だよ!」

それを聞いて、ロレインは心の中が温かくなりました。自分の家族のお話を聞けてよかったと思いました。

ようやく初等協会の活動の朝がやって来ました。ロレインはお母さんとタレオ姉妹が教会でじゅんぴするのを手伝いました。

そこで、うれしいニュースを耳にしました。彼らの島に神殿が建てられるのです!

ロレインは大喜びしました。神殿に入れる年齢になるころは、遠くまで行く必要はまったくありません!

その夜、ロレインの友人たちはみんな、初等協会の活動に来ていました。子供たちは順番に、自分の家族について学んだことを分かち合いました。ロレインの番になると、彼女は自分の家

系図のポスターを見せて、

「自分の家族について知ることができて、とてもよかったです」と言いました。「自分がひいおばあちゃんの名前ももらったことを知りました。それと、家族が初めて神殿に行ったことを知りました。神殿は家族が永遠に一緒にいられるようにしてくれます。」また温かい気持ちを感じました。「バヌアツに神殿が建つなんて、ほんとうにうれしいです。」

ロレインはにっこりとほほえみながらすわりました。成長してイエス様のようにになれることに感謝しました。そして、神殿に感謝しました! ロレインはいつの日か神殿に入りたくてたまらなくなりました。●

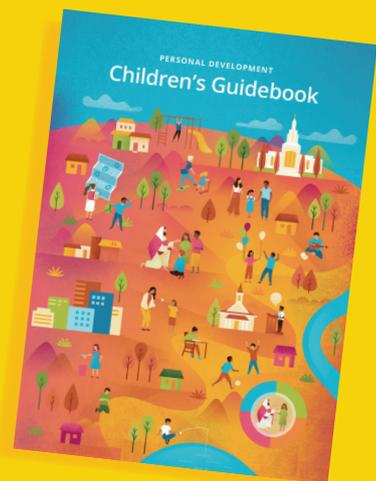


初等協会の活動

毎週教会で、ワードや支部のほかの子供たちと一緒に初等協会に行きましょう。時々、週の別の日に初等協会の活動を行うこともあります。その活動に行くと、イエス様について学び、一緒に楽しいことをしてください!

「子供と青少年プログラム」で イエスのように成長する

「子供と青少年」プログラムは、初等協会の活動に行き、目標を設定し、福音を学ぶことによって、さらにイエス・キリストのようになるための助けとなります。新しいことに挑戦したり、楽しんだりするのも役立ちます！『子供のガイドブック』は、それを始める助けになります。持っていない人は、初等協会の教師に聞いてみましょう。



福音についてさらに
学ぶことによって、
霊的に
成長することができます。



ひとびと
人々と友情を
きずくことによって、
社会的に
成長することができます。



スキルを活用したり、
練習したりすることによって、
身体的に
成長することができます。



あたら
新しいことを
学ぶことによって、
知的に
成長することができます。



「イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、
そして神と人から愛された。」

(ルカ 2:52)



まいにち
毎日
イエスに
したがう

まいにち
毎日イエスにしたがうことを選ぶとき、
イエス・キリストをちか近くにかん感じることができます。

こわれた すいとう 水筒

ケイディーはのどがカラカラでした。ソフィアにはどんな助けができるでしょうか？

ノエル・ランバート・バラス

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

このお話は、シエラレオネでの出来事です。

ソフィアは先生が黒板で算数の問題について説明するのを、しっかりと聞いていました。

「さあ、 4×9 はいくつですか？」と先生がたずねます。

ソフィアは手を上げました。「36です！」と答えました。

先生はにっこりとほほえみました。「そのとおりよ、ソフィア！」授業が終わり、家に帰る時間になりました。ソフィアは友達と一緒に歩きました。みんな水筒を取り出して、最後の水を飲んでいました。今日は暑いです！

でもソフィアは、友達ケイディーを見て、何かがおかしいと



思いました。水を飲んでいなかったのです。ケイディーは、何も言わずに歩いていました。

「ケイディー、あなたの水筒はどこ？」ソフィアはたずねました。いつでも、学校が終わるころには、だれもがのどがかわいていました。

「昨日こわしてしまって、新しいのは手に入らないの」とケイディーは言いました。「だから、もう学校に水を持って行けないの。」

ソフィアは自分の水筒を見ました。分けてあげられたらいいのに！しかし、水はもう全部飲んでしまっていました。

ソフィアは一日中、ケイディーとこわれた水筒のことを考えていました。彼女たちが住んでいる所では、きれいな水を手に入れるのは簡単ではありませんでした。ほとんどの子が、一年中使う水筒を1本しかもらえません。大きな容器に入ったきれいな水が家あって、それを水筒に満タンに入れていたのです。それ以外の水を飲めば、病気になるかもしれません。ケイディーは水筒がないかぎり、家から水を持って行って学校で飲むことはできないのです。

翌朝、ソフィアはケイディーを助ける方法を考えました。ソフィアの家族は、水が入ったプラスチックのボトルをいくつか持っていました。ソフィアはリュックに自分の金属製の水筒のほかに、そのボトルも一本入れました。リュックが少し重くなりましたが、気になりません。

学校に着くと、ケイディーを見つけました。

「ケイディー、新しい水筒は手に入った？」ソフィアはたずねました。

ケイディーは下を見ながら首を横にふりました。

「大丈夫よ」とソフィアは言いました。「あなたの分を持ってきたわ！」

ソフィアはケイディーに水のボトルをわたしました。ケイディーはにっこりしました。

「ありがとう、ソフィア！」ケイディーはソフィアを強くだきしめました。

授業中、ケイディーは水を、ボトルからほかの子たちと同じように飲みました。ソフィアは、友達がのどがかわくことがなくなったのを見て、うれしくなりました。

その週、ソフィアは毎日、ケイディーのために、1本余分に水のボトルを持って行きました。ある朝、ソフィアのお母さんがリュックを持ち上げました。

「うーん」とお母さんが言いました。「いつもよりも重いわね。」お母さんは、リュックを開けて水のボトルを取り出しました。

「ソフィア、学校にこのボトルも持っていくつもりだったの？」

お母さんがたずねました。

ソフィアはうなずきました。「ケイディーの水筒がこわれて、新しいのを手に入れられないんだって。だから、学校で全然水がなかったの。」

「どのくらいの間、あなたはその子にこの予備の水を持って行っていたの？」お母さんがたずねました。

「今週だけよ」とソフィアは言いました。「ケイディーがのどがかわいたらかわいそうだな、と思っただけ。」

お母さんはにっこりとわらいました。「あなたは、友達思いで、とてもやさしいのね。イエス様ならそうされるわよね。あなたがイエス様になるのはうれしいわ。」お母さんはソフィアをだきしめました。「でも、ほかにも助ける方法があると思うのよ。」

お母さんはソフィアに金属製の水筒をわたしました。「お友達がくりかえし使えるように、これを代わりにわたしてちょうだい。そうすれば毎日プラスチックのボトルを持って行く必要はないわ。」

「ほんとうに？」とソフィアが聞きました。

お母さんはうなずきました。「そうよ。ただし、大切にしように言ってね。」

ソフィアは、その水筒を学校に持って行きました。まずはケイディーに水筒をわたします。

「わあ」とケイディーは言いました。「ありがとう、ソフィア！」ケイディーはソフィアをだきしめました。

ソフィアは胸が熱くなるのを感じました。イエス様ならそうされるように、自分は友達を助けたのだということを知りました。●



あなたは、これまでどのような方法で人を助けてきましたか？

公園での トラブル

ハンターは深く息をすいきこみました。「そんな言葉は言わないよ。」

ダイアナ・エブリン・ニールソン

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

このお話は、アメリカ合衆国での出来事です。

ハンターは友達と一緒に公園を走って横切りました。風を切るのを感じて、にっこりと笑いました。自分はとても速くて軽いのと思いました!

最初にフェンスにタッチしたのは、カイルで、「ぼくの勝ち!」とさげびました。

そのすぐ後に、ハンターがフェンスにたどり着きました。「するいよ! 先に走り始めたじゃないか。」

「そうだよ」とミゲルが言いました。「やり直し! あの木まで競争だ!」

ハンターはまた走り始めました。今度は、一番に木にタッチしました。でも、ミゲルがすぐ後ろにいました。



「ぼくの勝ちだ！」ミゲルが言いました。
「ちがうよ、ハンターの勝ちでしょ」とパイパーが言いました。
「そうだよ」とカイルが言います。
ミゲルはうでを組むと、悪い言葉を言いました。
ほかの子たちは笑いました。ミゲルがもう一度その言葉を言
うと、みんなはさらに笑います。

ハンターは悲しくなりました。彼は、その言
葉が良くない言葉だということを知ってい
ました。でも、からかわれたくないので、
何も言いませんでした。

パイパーが別の悪い言葉を言いました。
すると、カイルもまた、別の悪い言葉を言
いました。

「ハンター、次はきみが言いなよ」とカイルが言いま
した。

「そうだ、言いなよ」とミゲルが言いました。「ほかのきたな
い言葉を言ってみてよ。」

ハンターは深く息をすいこみました。「そんな言葉は言わな
いよ。」

「一つ言うくらい、何も問題はないさ」とカイルが言いました。

「言いたくないんだ」とハンターは言いました。

「かわいいのか？」ミゲルが笑いました。

ハンターは、顔が熱くなりました。「ぼくは、別の場所で遊ぶ
よ。」

ほかの子供たちは、まだ笑ったり、悪い言葉を言ったりしてい
ました。ハンターはにげ出したくなりました。公園はもう楽し
くありません。「またね」とつぶやきました。

ハンターはポケットに手を入れて、ほかの子たちの間をゆっ
くりと通りすぎました。もう速くも軽くも感じません。心がひ
どく重く感じます。

ハンターはお母さんとお父さんがベンチに座っているのを見
つけました。お父さんは本を置くと、「大丈夫？」と声をかけま
した。

ハンターはかたをすくめました。「みんなが悪い言葉を言い
始めたんだ。ぼくは言いたくなかったから、帰って来た。」

お母さんがにっこりとわらいました。「それは勇気のいるこ
とだったわね。」

「ハンターのことをほこりに思うよ」とお父さんが言いま
した。「周りの人がそうしないときに、良い選択をするのはむずか



しいことだね。」

ハンターはため息をつきました。正しい選択をしたこと
はうれしかったのですが、それでもまだ良い気持ちはしませ
んでした。

「家に帰りたい？」とお母さんがたずねました。

ハンターは考えてみました。「まだいいや」と言って、
ジップラインで遊んでいる別の子供たちを見渡しました。
「あっちへ行くよ。」

ハンターが歩いて行くと、一人の男の子が彼に手をふり
ました。「やあ、ぼくはデビッド。」

「ぼくはハンター。一緒に乗ってもいい？」

「もちろんいいよ！」

ハンターはジップラインに乗ると、自分が風を切って進ん
でいるのが分かりました。デビッドやそのほかの子たちと
遊ぶうちに、ハンターはまた、自分が速くて軽くなったよう
な気がしました。ハンターは、難しいけれど正しいことを
したのです。良いことを選んでよかったと、ハンターは思
いました。●

良い選択をすることについてさらに学ぶには、「子供のガイドブック」のうらにある「わたしの福音の標準」を読んでください。

わたしはイエス・キリストにしたがうことができる



イエスは人々に仕えられました (ヨハネ 13: 5, 13 - 17 参照)。わたしは人に何かが必要かを見て、最善をつくして助けることができます。



イエスは人々を受け入れました (マルコ 10: 14 参照)。わたしは、ほかの人を受け入れ、仲間外れにされていると感じている人の友達になることができます。



イエスは人々のためにいのりられました (3 ニーファイ 17: 15 - 18 参照)。わたしはいのりを通して天のお父様と話すことができます。ほかの人を祝福してくださいよう、天のお父様に願い求めることもできます。



イエスは人々をゆるされました (ヨハネ 8: 11 参照)。わたしも人をゆるすことができます。そして間違ったことをしたら、「ごめんなさい」と言うことができます。



イエスは福音を教えられました (マタイ 5: 1 - 9 参照)。わたしは、ほかの人に福音を伝えることができます。イエスについて教えることができます。



イエスは完全なもはんであらわれました (ヨハネ 13: 15 参照)。わたしは、最善をつくしてイエスにしたがうことができます。ほかの人のもはんになることもできます。



み 見つけよう!

わたしたちは^{ひと}人に親切にすることによって、
^{まいにち}毎日イエス・キリストにしたがうことが
 できます。絵の中にかくれているものを、
^み見つけられますか?



きらきらの ネックレス

カロライナはネックレスをもう少し自分のものにしてほしいと思いました。



カロライナ・マリ

(ほんとうにあったお話をもとに書かれました)

このお話は、アルゼンチンでの出来事です。

カロライナはスキップして庭を回りました。友達のイザベラが外にいます。

イザベラが手をふりました。「うちに来て遊ぼうよ!」

カロライナは庭を横切ってイザベラの家に向かいました。

イザベラがポケットに手を入れました。「ちょっと見せたいものがあるの。」すると、カロライナが見たこともない、美しいネックレスを取り出したのです。小さな宝石はとてもきらきらとかがやいていました。

「わたしのママのなの」とイザベラは言いました。「今日はこれで遊んでもいいって。太陽の光に当てるとこうなるのよ。」

イザベラはネックレスを光に向かって持ち上げました。宝石から何百ものじが反射しました。そのなんと美しいこと!

「今からかくれんぼして遊ぼうよ!」イザベラが言いました。

「うん!」とカロライナは言いました。「ネックレスを持っていてあげるわ。」

「ありがとう!」イザベラがカロライナにネックレスをわたす

と、カロライナはそれをポケットに入れました。

それから間もなく、家に帰る時間になりました。別れを告げたとき、イザベラはそのネックレスについて何も言いませんでした。わすれていたにちがいありません。そしてカロライナは、イザベラにそのことについて言いませんでした。

カロライナはネックレスを家に持ち帰ることに少し悪い気持ちを感じましたが、もう少し長く持っていたいと思いました。カロライナはいやな気持ちを無視して、ネックレスをまくらの下に置きました。

次の日は土曜日でした。カロライナは家のお手伝いをし、外に出て遊びました。ネックレスのことはすっかりわすれていました。

「カロライナ!」パパがよびました。「こっちに来れるかい?」

カロライナは走って家の中に入りました。「何?」

パパはネックレスを手にもっていました。「まくらの下にあるのを、ママが見つけたんだ。これはだれのかな?」

「イザベラだよ。」カロライナの目になみだがあふれてきました。「昨日遊んでいる間、ポケットに入れて持ってあげたの。でも、その後お家にもって帰ることにしたの。」

ママはカロライナと一緒にソファーにすわりました。「ほんとうのことを教えてくれてありがとう。これからどうするべきだと思う?」

カロライナは静かになり、イエス様について考えました。イエス様ならカロライナに正直になり、ネックレスを返してほしいと思うでしょう。

「イザベラに返して、ごめんなさいと言うべきよね」とカロライナは言いました。そう言うとすぐに、いやな気持ちは消え去り、胸が熱くなるのを感じました。

カロライナはイザベラの家に行きました。

「こんにちは」とカロライナは言って、イザベラにネックレスをわたしました。「これを持ったままでごめんなさい。わたしをゆるしてくれる?」

「うん」とイザベラは言いました。「返しに来てくれてありがとう。」そして彼女は笑顔になりました。

「またかくれんぼして遊ばない?」

「うん! イザベラが先に数えてね。わたしがかくれるわ!」

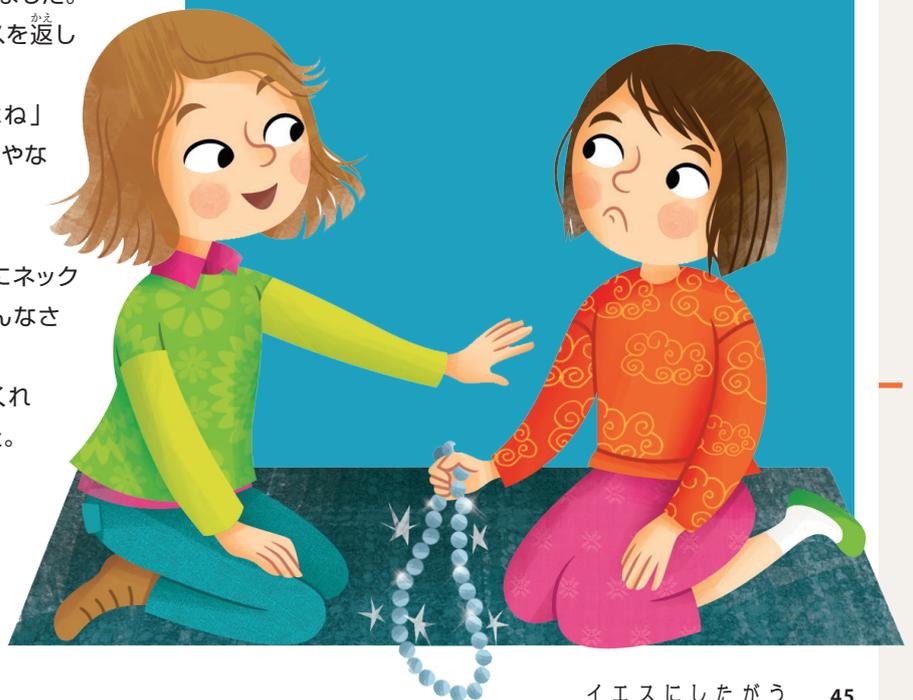
その夜、カロライナはいのりしました。「愛する天

のお父様、ネックレスを持ったままだったことをおゆるしく下さい。正しいことができるように助けてくださりありがとうございます。」

カロライナはまた、温かい気持ちを感じました。イエス様が自分に望んでおられることをすることができて、うれしく思いました。●

わたしはくい改めることができます

わたしたちはみな、間違った選択をすることがあります。しかし、イエス・キリストとそのしよざいのおかげで、わたしたちは物事を変え、正しくすることができます。これはくい改めと呼ばれています。わたしたちはくい改めるとき、自分がきずつけた人にごめんなさいと言います。間違いを直そうとします。ゆるされるためにいのります。その間違った選択を二度としないように最善をつくします。そうすれば、わたしたちはゆるされ、天のお父様が与えてくださる平安を感じるすることができます。

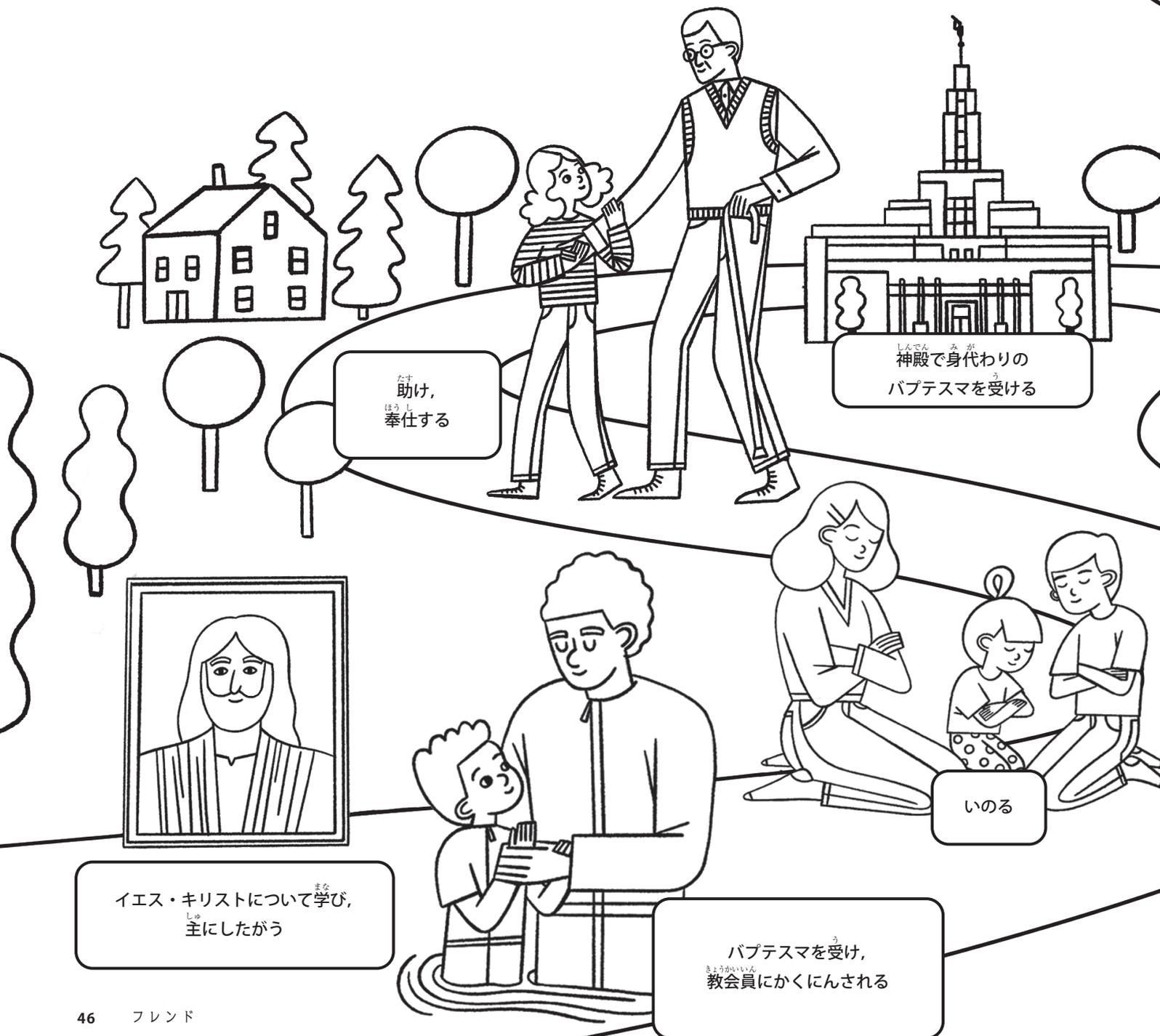


せいやく みち あゆ 聖約の道を歩む

てんのおとうさまは、あなたがおとうさまのようになれるよう、まなびちようせいするたためにあなたを地上におくりました。

イエス・キリストにしたがうとき、あなたはてんの家に帰る道を歩いているのです。

これはせいやくの道とよばれています。道にそって、この絵に色をぬり、さらにまなみましょう。





あらた
くい改める

しょうがい
生涯イエスに
したがる!

そのほかの神殿の
せいやくと祝福を受ける

せいてんを
読む

せいさんを
受ける

かぞくをあいし、
かぞくに仕える

せいれいに
みみをかたむける

アール・ワグネル・アズナ



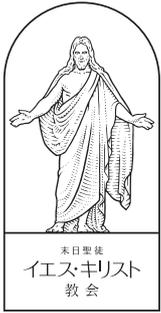
あなたのための機関誌です！

機関誌『フレンド』があると、楽しくイエス・キリストにしたがうことができ、
同じようにイエスにしたがう世界中の子供たちのことを知ることができます！
注文の仕方は、次の通りです：

親または初等協会会長に、[magazinesubscriptions.](mailto:magazinesubscriptions@churchofjesuschrist.org)
ChurchofJesusChrist.org で注文してもらってください。

friend.churchofjesuschrist.org から
『フレンド』にアクセスすることもできます！





末日聖徒
イエスキリスト
教会

フレンド

大管長会: ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, ディーター・F・ウーケトドルフ, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラスバンド, ゲーリー・E・スティープンソン, デール・G・レンランド, グレット・W・ゴンダ, ウリセス・ソアレス

編集長: ランドール・K・ベネット

編集長補佐: 山下和彦

顧問: トレーシー・Y・ブラウニング, マイケル・T・リングウッド

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター: アダム・オルソン

パブリッシングチームマネージャー: リー・ギボンズ

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャノン

編集主幹: ジャン・ピンボロー

編集主幹補佐: ローリー・フラー・ソーサ

デジタル編集主幹補佐: シャーロット・ラーカバル・スピークマン

コピーエディター: マリッサ・デニス

エディター: ルーシー・スティープンソン, イーウェル, ノエル・ラン

パート・バルス, オリビア・キッターマン, メアリー・エレン・J・パン

エンゲレンホベン

管理補佐: キャリー・カステン

編集インターン: ダイアナ・エプリン・ニールソン

アートディレクター: K・ニコール・ウォーケンホースト, マーク・ロビンソン

デザイナー: トーマス・S・チャイルド, スーザン・ロフグレン

版権および許諾コーディネーター: プリシラ・ビール・モック

言語制作主幹: アンモン・ハリス

言語制作: アイラ・グレン・アデア, ジュリー・バーデット, ホセ・

チャベス, セーン・R・グレイ II, ブライアン・W・ギュキ, ミッシェル・

ブロクター, マリッサ・M・スミス, ローン・ソロモン

印刷ディレクター: スティープン・T・ルイス

配送ディレクター: ネルソン・ゴンザレス

2冊以上注文する方法

この特別なバプテスマ号は、すべての子供たち、特にバプテスマを受ける準備をしている子供たちのためのものです。家族や初等協会の子供を含め、どの子供のために注文することも、できます。

1. ワードまたは支部用に注文する場合は、年次教科課程注文書フォームを使って注文してください。
2. 個人で購入する場合は store.ChurchofJesusChrist.org/friend で注文してください。
3. 個人で購入する場合は、地元のディストリビューションセンターで購入するか、またはグローバルサービス部に連絡して購入してください。

また、「わたしのバプテスマとかくにん」(16ページ)の読みやすく印刷できる書式バージョンは、friend.ChurchofJesusChrist.org からダウンロードすることもできます。

日本語版翻訳課長: 大森陽子

●定期購読は、末日聖徒イエスキリスト教会公式オンラインストアにてお申し込みください。 <https://store.churchofjesuschrist.org/jpn/ja>

発行所 末日聖徒イエスキリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-8-8

価格 年間購読 (国内)「リアホナ」1,090円、「フレンド」870円、「For the Strength of Youth—青少年の強さのために」870円 (すべて送料込み)

海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。

© 2023 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. The *Friend* (ISSN 0009-4102) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, Utah 84150-0024, United States of America. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah.

著作権情報: 別段の記載がない限り、「フレンド」の記事は個人的に、また非営利目的 (末日聖徒イエスキリスト教会での召しに関連した使用も含む) で使用する場合に複製することができます。この権利は、常に、いかなる理由でも取り消される可能性があります。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 5, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メールで cor-intellectualproperty@ChurchofJesusChrist.org にご連絡ください。

定期購読と住所変更: store.ChurchofJesusChrist.org にアクセスするか、新旧の住所を以下の宛先までお送りください。 Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, United States of America. 変更が有効になるまで 60 日かかります。

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

Canada Post Information: Publication Agreement #40017431.

原稿やアート作品の送り先: *Friend* Editorial, 50 E. North Temple St., Rm. 2432, Salt Lake City, UT 84150-0024, United States of America. 投稿資料は歓迎しますが、いただいた資料に対する責任は負いかねます。子供の投稿については、返却されません。電子メール: friend@ChurchofJesusChrist.org.

「フレンド」は以下のアドレスからインターネットでご覧いただけます。 ChurchofJesusChrist.org/friend.

4 0219014300 8

JAPANESE

